

介護予防事業などへの人材派遣、および「いつでもどこでも脳活プログラム」の実施

他団体からの依頼に対し、健康づくりフェア、介護予防教室などに作業療法士を派遣している。また2019年に当会が監修した「いつでもどこでも脳活プログラム（金沢市）」を20件実施、住民223名が参加した。金沢市以外にも実施地域を広げ、プログラムを用いて認知症予防・生活不活発の防止事業に取り組んだ。



令和6年能登半島地震後の能登地区 認知症カフェの状況

認知症カフェ（主催：能登認知症疾患医療センター）は、七尾市内のお寺2か所で実施している。認知症カフェでは、作業療法士等が介護予防体操やリハビリゲーム、創作活動を行っている。

2023年度は8回計画し、能登半島地震により2回中止となった。2024年6月から認知症カフェを再開し、今後、これまでの2か所の他、出張出前カフェとして展開していく予定でいる。



中高生と高齢者の交流会の開催(2021年度からの継続事業)

県内2カ所で開催し、中高生9名、高齢者15名が参加した。高齢者はタブレットや自身のスマートフォンを使用し、地図や動画アプリ、またLINE等のビデオ通話を体験した。中高生は、それらの体験をサポートしながら、お互いの交流を深めた。



県内作業療法士の認知症施策への県内関与状況調査

実施時期：2024年2月～3月

結果：① 関与状況は認知症カフェ、初期集中支援チーム、認知症サポーター養成の順に多かった。

② 課題にマンパワー不足や臨床業務との調整困難があがった。

2024年度 認知症に関する活動計画（概要）

石川県作業療法士会では、認知症に関する活動について以下を計画している。

1. 県内認知症関連事業の事業協力と広報活動

認知症カフェ、介護予防教室などへの参加、中高生と高齢者との交流会の開催

2. 認知症に対する作業療法を実践している作業療法士の技能向上支援

認知症施策の動向把握、技能向上を目的とした研修会の開催を予定している。

2023年度は認知症施策総合支援事業の内容の理解および市町村の取り組みを知ることをテーマに研修会を企画したが、令和6年能登半島地震により中止となった。

3. 地域で活動する作業療法士の情報共有

今後、地域および認知症関連事業に携わりたい作業療法士を対象に、技術を習得のため、見学等のサポートを行う